

講座⑤
(1/21)

若い世代との連携講座 ～様々な世代と連携する方法を考えよう～

テーマ別講座⑤では、若い世代との連携講座を実施しました。町内会役員を対象に、学生や子育て世代、単身者など様々な若い世代と連携するためのアプローチ方法やポイントについて、講義を行いました。その後、グループに分かれて連携のアイデアを出し合いました。

<開催概要>

- ・日 時：令和2年1月21日（火） 13:00～16:00
- ・場 所：青葉区役所 4階会議室
- ・参加者：18名
- ・内 容：講義、4グループに分かれてワークショップ



講義

講師の株式会社KITABA常務取締役 内匠庸介氏から、若い世代の意向や若い世代が感じるハードル、連携するための方法について情報提供がありました。

若い世代との接点づくりの声かけ方法、かかわりのポイントなどを、連携のステップごとに事例を交えながら説明しました。

【参考】若い世代と連携するためのステップ

- ①人材を掘り起し、共有しましょう
- ②積極的な声かけで、アプローチして、関係づくりから始めましょう
- ③参加や手伝いなどから、かかわりのきっかけをつくりましょう（配慮）
- ④連携・かかわりから担い手へつなげていきましょう（仕組みづくり）

ターゲットに
寄り添って
関わりましょう

ワークショップ

町内会の活動状況などの情報交換をしながら、若い世代や様々な世代と連携するためのアイデアを出し合いました。

連携したいターゲットやテーマ、アプローチ方法など具体的に考えました。

想定されるターゲット

中学生

高校生

大学生

サークル的
コミュニティ

地元企業
若い職員

単身の
社会人

子育て中
のパパママ

子育てが
一段落した主婦

働き盛りの
40代・50代

セカンドステージ
の退職者



アプローチ方法を考える（声のかけ方、かかわりのきっかけづくり、担い手へ）

各グループの意見は裏面でご紹介します

ワークショップの結果（グループごとの主なご意見）

『若い世代や様々な世代と連携するために』

1

グループ

ターゲット：大学生、退職者、子育て世代

■大学生や単身の若者との連携

- ・ LINEなどを活用して情報発信
- ・ 豪華な弁当の写真を載せて発信する
- ・ ちょっとしたお手伝いをお願いする

■退職者との連携

- ・ 男性：町内会で居酒屋を実施
- ・ 女性：サロン、お茶会を実施

■子育て世代との連携

- ・ キーパーソンを見つける（負担はかからないようにする）
- ・ イベントに有名人を呼んで参加のきっかけとする
- ・ 子連れOKにする（参加しやすいような受入体制づくり）
- ・ 企画など主体的に関わってもらう（役割をつくる）

2

グループ

ターゲット：事業者、中高生、子育て世代

■店舗、会社、飲食店

- ・ まずは町内会活動をお知らせする
- ・ 集会所としてお店を活用

■中高生との連携

- ・ 会合などで先生に声をかけ、サークルや部活を紹介してもらう
- ・ 学校と町内会の交流会をひらく

■子育て世代との連携

- ・ おまつりは参加のきっかけになる
- ・ チラシは文字を少なく（ごみ集積場にポスターを貼ると効果的）

■お願いのポイント

- ・ まずは、あいさつから顔見知りになる
- ・ 活動に報酬を支給する
- ・ 具体的にお願い（やることを明確に）
- ・ 手伝える時間や曜日を聞いてみる
- ・ 他に手伝えそうな人がいないか聞く

3

グループ

ターゲット：子育て世代

■顔見知りになるきっかけづくり

- ・ 子ども会と連携してイベントを行う
- ・ 清掃活動などで顔見知りになる

■声かけの工夫

- ・ こまめに、気軽に声かけする
- ・ 若い人から若い人に声をかけてもらう
- ・ 活動を紹介するおたよりなどを作成し、それを持って声をかける

■お手伝い、できることから

- ・ いきなり役員ではなく、できるときにできることをお手伝いしてもらう
- ・ 新しい役員向けにマニュアルやフォロー体制を整えハードルを下げる
- ・ 若い人のやりたいことや意見を尊重

■たのしいことをセットに

- ・ 飲み会があると楽しい（あまり長時間にならないように）

4

グループ

ターゲット：子育て世代、学生

■顔見知りになるきっかけづくり

- ・ まずは町内会活動に参加してもらう
- ・ スポーツ大会に参加してもらう
- ・ 食事、お酒付きなど工夫する
- ・ 防災など、多世代の共通の興味関心から参加してもらう

■若い世代のニーズ調査

- ・ アンケートを実施して、ニーズを把握する

■若い世代に向けた情報発信

- ・ SNSページやホームページを作成して情報発信する
- ・ プライバシーやセキュリティに配慮する